

# 水の国カンボジア、川と暮らしと河川開発

カンボジアはメコン河の下流部に位置しています。雨季と乾季で降雨量が大きく異なるため、逆に流れる川や季節によって面積を大きく変えるトンレサップ湖など、独特の自然環境を持っています。カンボジア北東部には、メコン河流域最大の支流群、セサン、セコン、スレポック川という3つの川が流れています。豊かな水は多くの魚を育み、魚は人々の暮らしを支える重要な食料です。カンボジアでは今、様々な変化が起きていますが、川もその例外ではなく、大規模な開発事業が次々と計画されているところです。環境は大きく変わり、特に農村部の人びとはその変化に翻弄されています。

本セミナーでは、主に北東部の川沿いに暮らす人々の暮らしぶりを紹介するとともに、近年の河川開発がその暮らしに及ぼす影響について、映像を交えてお話しします。

**【日時】2015年9月26日(土) 15:00-17:00 (開場14:30)**

**【場所】上智大学 四谷キャンパス 11号館505教室**

JR／東京メトロ「四ツ谷」駅から徒歩5分

**【参加費】一般 700円 学生 500円**

カンボジア市民フォーラムおよびメコン・ウォッチ会員無料

**【参加方法】**事前申込制。参加のお申し込みはカンボジア市民フォーラムウェブサイト(<http://www.pefocj.org/>)の専用フォームにて受け付けております。FAXでのお申し込みは①お名前、②ふりがな、③ご所属、④会員／非会員を明記のうえ<03-3835-0519>にご送信ください。

**【お問い合わせ】**カンボジア市民フォーラム事務局 担当:上村 E-mail: [pefocj@hotmail.co.jp](mailto:pefocj@hotmail.co.jp) TEL: 03-3834-2407 FAX 03-3835-0519

## <講師> 木口 由香氏 特定非営利活動法人メコン・ウォッチ 事務局長

タイのダム問題に関心を持ったことがきっかけで、メコン・ウォッチに参加。1999年よりタイとラオスでメコン河流域の暮らしと川の関係について調査を始める。2004年からラオスのローカルメディアと人々の自然の利用や環境問題を伝える映像制作を開始、2011年からはカンボジアのセサン、スレポック川流域に対象地域を広げている。著書『ラオスを知るための60章』(共著、明石書店)、映像作品「ムン川の経験—メコンの暮らしとダム」など。

## 今後のセミナーの予定(2015年度後半)

### 第6回 カンボジアのNGO法制

日時 10月10日(土)15:00~17:00

会場 上智大学四谷キャンパス11-505

講師 熊岡路矢、山田裕史、上村未来

(カンボジア市民フォーラム)

### 第7回 現代史と向き合うということ

～カンボジアの模索～

日時 11月21日(土)15:00~17:00

会場 上智大学四谷キャンパス(教室未定)

講師 木村文氏(情報誌「プノン」編集長)

### 第8回 カンボジアのソーシャルビジネス最前線

日時 12月9日(水)19:00~20:30

会場 上智大学四谷キャンパス(教室未定)

講師 功能聡子氏(ARUN合同会社代表、

特活 ARUN Seed 代表理事)